

鉄製狛犬

この非常に珍しい鉄製の狛犬一対は鎌倉時代（1185-1333）、初代将軍源頼朝(1147-1199)によって高千穂神社に奉納されました。この歴史的で文化的な価値を誇るために、1971年に国の重要文化財に指定されました。狛犬は、もともとは魔除けのために神社の入り口両脇に置かれていました。

鎮石

昔、高千穂神社が、第11代天皇によって初めて創建された時、この石が鎮石として用いられたと伝えられています。神社が建てられた地の霊を和らげるために置かれました。

現在、この鎮石は、境内の要となっています。石からエネルギーが出ているのが感じられ、この石に祈ると人の悩みや世の乱れが鎮められるといわれています。